

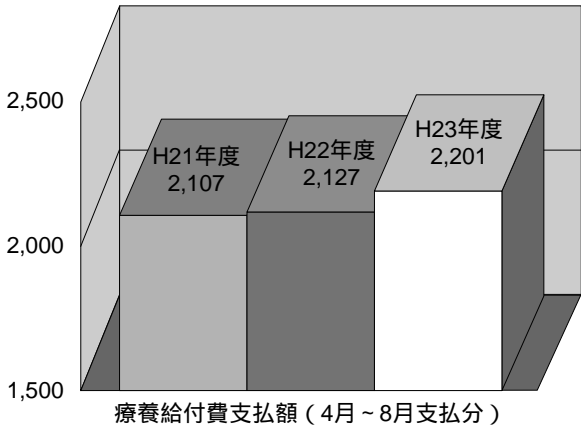
笛吹市国民健康保険通信

「国民健康保険加入者の皆さんへみんなの国保を守るために」

このコーナーでは、国民皆保険制度を根底で支えつづけている国民健康保険（以下「国保」）の制度や笛吹市の現状についてお知らせしていきます。「みんなの国保を守るため」に、一緒に考えていきましょう。

平成23年度前半医療費の動向！ （国保会計からの支払分の状況）

平成23年度4月～7月の医療費を前年と比較すると、7400万円3.4%も上昇しています。一人当たりの医療費で見ると毎月一人10000円昨年より上昇した計



療養給付費支払額（4月～8月支払分）

算になります。特に高額医療費（入院）の増額が目立ちます。

早期発見・早期治療が医療費の削減にもつながりますので、日頃から市で行っている特定検診や、がん検診を受け重症化しないよう心がけましょう！

引き続き医療費の節約を心がけていただき、安定した国保運営のためにご協力をお願いします。



問合せ先
国民健康保険課 国保総務担当
055(262)4111

慢性腎臓病を 予防しよう!!

VOL.2

検尿って大事なんです



山梨厚生病院
腎臓内科部長
櫻林 耐 医師



皆さん、検尿をしたことがありますでしょうか。子どもとき、就職のとき、住民健診などで行うことになっています。これは尿に蛋白や血液が出ていないか調べて、腎臓の病気を早く見つけるために規則で決められているのですよ。

腎臓からのサイン

蛋白尿や血尿があっても痛くも痒くもありません。でも正常な腎臓からはめったに蛋白や血液は出てこないのです。だから尿に蛋白や血液が出ることは腎臓が壊れているしるしなのです。腎臓組織（ネフロン）は糸球体（血液分別器）と尿管（再吸収器）できているのですが、慢性腎炎という病気では、これらが炎症を起こして蛋白や血液が1年以上漏れ続

け、だんだん壊れていきます。そして腎不全という怖い病気になってしまふのです。困ったことに一度障害されたネフロンは生き返りません。ネフロンが減少して、腎臓の機能が1/3位にまで落ちると、浮腫みや高血圧・貧血といった症状が出てくるのですが、そのころには腎臓病はかなり進んでいて、腎不全そして尿毒症になり、透析治療が避けられなくなってしまうのです。

早期治療の大切さ

尿の異常を発見すれば腎臓の病気の原因や重さを調べて治療します。蛋白尿の量や腎臓機能を調べ、必要なら入院して腎生検をします。以前は腎不全の原因の殆どが慢性腎炎でした。最近は糖尿病・高血圧・メタボリック症候群による腎臓病も増えてきています。生活習慣病ですね。どの病気でも生活習慣や食事に気をつけて、必要な薬

を使えば、腎機能障害の進行を抑制でき、透析治療に至らずに、または透析導入を遅らせられるのですよ。病気がみつかるのは怖いのですが、本当に怖いのは知らずに何の手当もせず、手遅れになってしまうことです。尿検査をうけて、異常があったら専門病院に来て精密検査を受けてください。ね。

（山梨慢性腎臓病対策協議会
<http://www.yckdi.org/>）